

ASIS INFORMATION

Vol.25

ASIS 日本支部 東京月次ミーティング 第2回報告

ASIS インターナショナル日本支部 広報担当理事
長瀬 泰郎

今月は、1月からスタートした東京都内定例ミーティング第2回(2月20日)についてレポートするほか、3月6日から9日まで、東京有明の東京ビッグサイトで開かれた Security Show 2007 における ASIS 日本支部出展の様子を写真で速報します。

■ 2月20日都内ミーティング

当日は、情報セキュリティ大学院大学客員助教授で富士ゼロックス株式会社マネジメントイノベーションオフィスのシニアマネージャー、工学博士 藤本正代さんに「今、企業が取り組むべきリスクマネジメントと情報セキュリティ」というテーマでキーノートスピーチをしていただきました。以下はその要約です。



キーノートスピーチを行う藤本博士

重要性が注目され、ますます関心が高まっている企業リスクマネジメントですが、最近ではITがビジネスを変えたことにより、企業を取り巻くリスクが大きく変化しています。

情報の共有化が進み、距離的な制約が減るとともに、どこでも印刷ができるようになりました。このため、顧客情報の流出や大規模なシステム障害などの問題が起きた場合、極めて大きな影響を企業に及ぼすことになりました。リスク低減の

ための手直しや改革は、部分的なものだけではならず、組織や企業全体での見直しが必要になってきました。

ここで紹介された情報セキュリティを継続的に維持する仕掛けはどれも常識的なものばかりですが、藤本さんは、経営のトップがこの問題を経営課題として取り組み、基本方針をしっかりと定めて組織的に、継続的に実施することの重要性を訴えています。

藤本さんが勤務する富士ゼロックス株式会社では、情報セキュリティに取り組むにあたって、経営層をトップとするタスクフォースを作りました。多くの大企業がそうであるように、情報セキュリティについては情報システムと総務の2部門が関係していました。同社は基本的アプローチを策定する過程で、ITセキュリティ専任組織としての情報セキュリティ部門を新設し、情報セキュリティガバナンスを担わせることにしました。

このようなプロセスを経て、同社は情報セキュリティ文化の醸成と定着を図り、事業継続管理を含めた注力テーマとして取り組みを進めているとのことでした。

藤本さんのお話の後、出席者との間で活発な質疑応答が交わされました。



意見交換の様子

① Plan・Do・Check・Action サイクル、② 「セキュリティ」の定義、③ 「産業セキュリティ」と「防犯」の違い、④ セキュリティに関心のある人々がもっと議論をする必要性があること、⑤ セキュリティに携わる「プロフェッショナル」に期待される役割、などについて、多くの意見交換が行われ、予定時間を大幅に延長して終了しました。



ASIS 日本支部の徳田支部長



アイスブレイキングのために自己紹介

毎月定例(毎月第3火曜日)ASIS 都内ミーティングの次回は、3月20日(火)午後6時半より、これまでと同じく、JR四ツ谷駅前の高千穂交易様本社をお借りして第3回都内ミーティングを行います。

キーノートスピーチは、裕幸計装株式会社の徳原さんによる「TAPA」(物流セキュリティ認証)がテーマです。

参加会費は、ASIS 会員、非会員がそれぞれ 3,000 円、3,500 円ですが、同伴者がいれば割引があります。

ASIS インターナショナル日本支部の東京月次ミーティングに、皆さんも是非ご参加ください。

■ Security Show 2007 でアピール

3月6日から9日まで、東京有明の東京ビッグサイトで Security Show 2007 が開かれました。米国大使館商務部のご厚意で ASIS 日本支部をアピールする機会をいただきました。



ASIS 日本支部の展示



米国大使館ブースの一部を借用

このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは

ASIS インターナショナル日本支部 事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-17

日本保安人事株式会社内

TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630

E-Mail info@asis-japan.org/

www.asis-japan.org